

第4学年 総合的な学習「GOタイム」指導案

日 時 平成28年 8月31日
場 所 塩山南小 4年1組教室
対象学級 第4学年1組 25人
指 導 者 小 椋 規 雄

1. 単元名 「世界となかよし」
2. 単元について

外務省の統計資料から、日本から外国への出国者数は、1年間に延べ1400万人を越え、年々増加している。外国へ出て行くだけが国際化というわけではないが、急速な国際化の進展に伴い、未来に生きるこれからの子どもたちには、国際感覚の基礎を培うことや、異なる文化を持った人々と共に生きるための資質や能力、さらには互いを尊重する姿勢など、様々な力を身に付けることが期待されている。また、衣食住だけでなく、環境問題、政治、経済、文化など、私たちの生活や取り巻く環境は、世界の国々とのつながりで成り立っていることは言うまでもない。

そんな中私は、2009年度から3年間、バングラデシュにあるダッカ日本人学校に赴任した。貧困と洪水のイメージが強い南アジアの小国だが、日本の国土の4分の1程度に1億6000万人以上が暮らす、人口密度の高いエネルギー国である。道路は車とバイクとリキシャで埋め尽くされ、インフラ整備の進まない新興国では、渋滞が大きな社会問題となっている。町には学校に行けない子どもたちが裸足でごみを拾い歩き、交差点や寺院の周辺には、物乞いで溢れかえっている。これまで外国から多くの支援を得て、警察や役所など行政の仕組みを作り上げたり、農業振興や衛生管理意識、教育の充実などに力を入れたりして大きな発展を遂げてきている。近年、安い労働力を求め、外国からの企業進出が進み、縫製業を中心として雇用が拡大し、アパレル業界世界第2位まで成長してきている。しかし一方で、2016年7月には、イスラム国に影響されたバングラデシュ人によるテロ事件が発生し、日本人7名を含む多くの外国人が犠牲になったことは大きな衝撃である。比較的安全で治安も良い地域で起こっていること、一番の支援国である日本も標的にされたことなど、これからの対応や国交関係に大きな不安が残っている。

当時、日本人学校に通う子どもたちは、現地の生活に不便さを感じ、自国の豊かさを肌で感じていたことだろう。最初日本の子どもたちは、児童労働について「かわいそうだ。」と話していた。そこから中学部の総合学習がスタートし、「児童労働」について深く学んでいった。JICAの方々の協力を得て、様々な情報をいただいたり、町に出かけてインタビュー活動を行ったりした。労働に携わる現地の子どもたちは、僅かな賃金すべてを両親に渡し、家計を支えていることにこの上ない喜びを感じていること、学校に通いたいけど通えない現状、そしてたくさん勉強して医者や弁護士になるという大きな夢を語ってくれた。その姿に中学部の生徒たちに変化が現れ、「かわいそうなのは笑顔で夢を語れない私たちの方だ。」と感想を発表した。この体験を通し、戦争が無いことだけが平和ではなく、学校に通えること、家族と暮らせること、夢を持って前向きに生きることすべてが平和につながっていくということを学ぶことができた。

そこで本単元では、国際理解教育のスタートとしてバングラデシュの様子を取り上げ、平和や幸せについて考える機会も設けていきたいと考える。留意点として、相手を見下すことのないよう、お互

いの良さを見いだせるような指導に心がけたい。そして世界にはたくさんの国があり、食や文化、スポーツや学校など、様々な違いがあることを調べたり体験したりする活動を行っていく中で、異なる言語や文化に関心を持ち、異文化を尊重したり、共生したりする資質や能力を育てていきたい。さらに、日本の良さを確認し、前向きに生活していこうという態度につなげていきたい。

子どもたちは、3年生から総合的な学習の時間（本校では「GOタイム」）で、調べ学習や観察活動を行い、地域や環境、戦争などをテーマに、本やパソコンを使って調べたり、まとめて発表したりする学習に取り組んできた。1学期には「ともに生きる」という福祉をテーマにした学習で、目や耳の病気、介助犬、道具など6つのグループに分かれて調べ学習をしたり、意見交換をしたりして、目標に迫ることができた。昨年のGOタイムでも世界をテーマに、いろいろな国のデータや国旗の意味、食などについて調べ、新聞づくりを行っている。本単元では、子どもたちに昨年までの知識をもとにさらに知りたいことや調べたいことを考えさせ、課題解決型の指導過程を仕組んでいきたい。また、調べたり体験したりしたことから得た知識をもとに、考えたことを比較したり交流したりして深めることができるような探求的・協同的な学習の流れを考えていきたい。

3. 児童の実態 《男子14人、女子11人（内1人情緒学級在籍）、計25人》

男女の仲が良く、友だちとの時間や絆を大切にしようという気持ちが高まってきている。友だちが固定化され始める時期でもあるが、協力して活動したり楽しんだりすることができる。しかし、自己中心的な言動から口げんかやトラブルになることも多く、その都度お互いが納得して解決できるよう努めている。心で思っていることは、相手を傷つけることでも口に出してしまう子が多く、その都度相手の気持ちを考えることについて指導している。自己主張が強くぶつかり合い、その解決に時間がかかることもあるが、最後には自分の非を認めたり相手を尊重したりすることができる子が多い。

生活指導としては、褒めるときも問題行動の時の指導においても、一貫性のある指導に心がけ、児童一人ひとり、また周囲の友だちに対しても望ましい行動をもっと増やせるよう、児童の良いところ・できているところを認め、伸ばしていくことなどを継続して行っていきたい。

学習面では理解力にかなりの個人差があり、低学年で習う漢字や四則演算などで個別指導を必要とする児童が数名いる。多様な考えに触れて自分の考えを深めることができるように、複数指名制をとるなどして多くの児童が自分の考えを発表できるようにしている。自分の考えを発表することに対する抵抗もかなり和らいでおり、友だちの誤答に対しても温かな雰囲気ができ上がってきている。今は、自力解決の時間を十分確保し、既習事項を使って自分の考えを膨らませる時間を確保し、多様な考えに触れる機会を作るよう意識している。今後、発言の偏りを無くしていくことや人の話をしっかり聞くこと、充実したグループ活動を行うことについても指導を進めていきたい。

4. 単元の目標

- | |
|---|
| <p>①地域の学習素材を起点として、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。</p> <p>②学び方やものの見方を身に付け、問題の解決などに主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えたり進んで地域に関わろうとしたりする資質を育む。</p> |
|---|

（塩山南小「総合的な学習の時間GOタイムの全体計画」より）

- ・課題への思いを大切に、学習に取り組む子ども。
- ・地域の自然や人、ものに積極的にかかわって課題解決に取り組む子ども。
- ・活動してきたことを相手に分かりやすく表現する子ども。

(塩山南小「総合的な学習の時間めざす子ども像」より)

本単元では、世界中に暮らす外国人やその国の文化に関心を持ち、意欲的に調べたり体験したりする活動を通して、異文化についての理解を深め、異文化を尊重したり共生したりする資質や能力を育てる。さらには日本の文化の良さに気づき、前向きに生活しようとする態度を育てていきたいと考える。

5. 子どもに身に付けさせたい力

【問題解決】

○適切な課題を設定し、その課題解決に向けて意欲的に粘り強く探求する力。

【学び方・考え方】

○自分の願いや思いを持ち、自発的に取り組む力。

【主体性・創造性】

○自分が調べたことを再構成し、考えを創り出したり練り直したりする力。

○人々とのかかわり合いを学び、豊かな人間関係を創り出す力。

【生き方】

○生活に結びつけて考えたり、生活に生かそうとしたりする力。

6. 単元の指導計画 (全 27 時間)

活動の流れ		学習内容	指導上の留意点
ふれる	第1次 (7)	○昨年度の学習を思い出し、外国について知っていることや、さらに調べてみたいこと、やってみたいことを出し合い、学習問題を設定する。①	・外国について知っていることを整理しながらまとめる。 ・ウェビングで自由に考えさせる。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>学習問題</p> <p>いろいろな国の様子を調べたり体験したりして、外国や日本の良さを発見しよう！</p> </div> <p>○学習問題から解決方法を考え、学習の見通しを立てる。①</p> <p>○バングラデシュの生活を学習し、自分の1日の生活を振り返って、満足度について考える。①</p> <p>○バングラデシュと日本の子どもたちの1日の生活の違いを知り、生活に対する満足度や願いについて考える。① 【本時】</p>	・自分の今の生活を振り返り、どのくらい満足しているのかを考えさせる。 ・相手をバカにしたり見下したりすることのないように指導する。

ふれる	第1次	<p>○ Bangladesh のくらしや文化について学習し、心の豊かさについて考える。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校 ・交通 ・特産品 ・通貨 ・乗り物 ・児童労働 ・食 ・産業 ・音楽など ・衣服 ・言語 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と比較して、違いに目を向けさせながら異文化について知らせていくようにする。
つかむ・追究する	第2次 (10)	<p>○ Bangladesh の文化を体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Bangladesh カレーを作り、手で食べてみよう。② ・ Bangladesh カイトを作って、みんなで凧揚げをしよう。③ <p>○ Bangladesh 以外の国々に目を向け、今までの学習と比較しながら、本やインターネットを使って調べる。⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の学校について ・世界の自然について ・世界の動物について ・世界の食文化について ・世界の民族衣装について など 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科の学習を経験していないため、安全面を考慮し、保護者の協力を得る。 ・自分の調べたいと思う国や内容を決めて取り組む。
まとめる・伝える	第3次 (5)	<p>○調べて分かったことや、体験したこと、自分の考えなどを新聞にまとめる。③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が「世界の○○新聞」など、テーマに沿って新聞づくりを行う。 <p>○新聞の発表会を行い、分かったことや考えたことを共有する。②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本と比較して感じたことや考えたことなどもまとめられるよう指導する。 ・友だちの発表から分かったことや、感じたこと、良かったことなど、感想を交流できるように指導する。
深める	第4次 (4)	<p>○海外からの留学生を招聘し、交流会を行う。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが学習してきたことの発表をする。 ・現地の子どもたちの生活について学ぶ。 ・現地の遊びや日本の遊びで交流する。 <p>○外国の良さや日本の良さについて、話し合う。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の国を調べてみて、いいところを出し合い、話し合う。 ・日本と比較して、感じたことや考えたことを話し合う。 ・これからの生活に生かしていきたいことについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化を実際に体験する機会として、子どもたちの生活や遊びなどを中心に交流する。 ・話し合いの約束を掲示しておく。 ・外国の様子と比べて、日本のいいところだと感じたことを大切にして話し合えるよう指導する。

振り返る	第5次 (2)	○これからの生活に生かしたいこと、学習して考えたことなどを発表し、振り返る。 ・学習感想を書く。	・これからどんなことを頑張っていきたいか、前向きに考えられるよう助言する。
------	------------	---	---------------------------------------

7. 自主編成におけるカリキュラムの工夫

- ・教師自身が体験したことを単元構成の中に位置づけ、生かすことによって、児童の興味関心をより高めることができるようにする。
- ・本やインターネットなどの資料をもとに調べるだけでなく、実際に見たり、体験したりする調べ学習を行う。
- ・調べて分かったことや体験して気づいたことだけでまとめるのではなく、日本の良さや今後の生活に生かしていけるようなことを考える指導過程を工夫する。
- ・最初の過程で設定した学習問題を、常に意識できるよう毎時間掲示しておくことで、児童が単元全体を見通すことができるようにする。
- ・調べたことをまとめて情報交換した後、発表の場や留学生を招聘しての国際交流の場を設定することで、より学習を深めることができるようにする。
- ・考えを発表したり、話し合ったりする場面においては、ルールや話し合い方の指導を行い、話し合いをしながら方法を学ぶことができるような過程を計画する。

8. 本時の学習

- (1) 日時 平成28年 8月31日(水) 5校時(14:00～14:45)
- (2) 場所 塩山南小学校 4年1組教室(校庭のプレハブ校舎2階)
- (3) 目標 バングラデシュと日本の子どもたちの生活の違いや願いを知ることができる。
- (4) 評価規準 異文化についての理解を深め、意欲的に活動したり異文化を尊重したりすることができる。
- (5) 本時の展開

展開	学習活動・内容	指導上の留意点(・)と評価(★)
問題提示 (5)	<p>1. 前時までを振り返る。</p> <p>○バングラデシュの子どもたちは、いろいろな労働に携わっていることを振り返る。 ・ゴミを拾う ・物を売る ・店で働く</p> <p>○自分たちの生活とどんな違いがあったかを振り返る。 ・学校に行きたいけど行けない。 ・長い時間働いている。 ・学校に行っている子が少ない。 ・お金を稼いで家を支えている。</p> <p>○今の自分たちの生活満足度について確認する。</p>	<p>・実際の画像を提示して、思い出させるようにする。</p> <p>・1日の生活表で比べたことを思い出させるようにする。</p> <p>・全員の生活満足度の平均値を知らせる。</p>

		
<p>問いを知る・問いの共有 (2)</p>	<p>2. 学習課題をつかむ。</p> <p>○ Bangladesh の子どもたちの願いや喜びについて知る。</p>	<p>・ 前時に比べてみた、自分たちの生活と Bangladesh の子どもたちの生活との違いから、相手の気持ちを想像しながら進めることを伝える。</p>
<p>《本時の学習課題》</p> <p> Bangladesh と日本の子どもたちの生活を比べ、違いや願いについて考えよう！</p>		
<p>集団解決 (10)</p>	<p>3. 自分が考えた生活満足度を交流し、グループで話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かわいそうだから〇点。 ・ たくさん働いていて、すごいと思うから〇点。 ・ 遊ばなくてつまらないから〇点。 ・ 学校に行かなくていいから〇点。 	<p>・ 話し合いの約束を掲示しておく。</p> <p>・ 発表した後、班の意見をまとめる時には、参観していただく先生方にも司会役や班員に対して指導していただきながら進める。</p>



<p>価値の共有 (20)</p>	<p>4. 各グループから出された意見を全体の場で発表し、考えを共有する。</p> <p>5. バングラデシュの子どもたちの願いや気持ち、生活満足度を知る。</p> <p>○児童労働する子どもたちへのインタビュー映像で、現地の子どもたちの願いや喜びを知る。</p> <p>○生き生きと笑顔で大きな夢を語る画像を見る。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表する。 ・各グループの考えがまとまったら、発表ボードに書き、黒板に貼る。 ・一人ひとりがしっかりと夢に向かって努力していることや、家計を支えていることに誇りを持っていることなどを紙に書き、黒板に貼り付ける。  
<p>振り返り (6)</p>	<p>6. 学習課題のまとめをする。</p> <p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが思っていた以上に満足していることが分かった。 ・夢をしっかりと持っていてすごい。 ・生活に満足していてびっくりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で分かったことを、ワークシートに自分の言葉でまとめさせる。 ・自分たちが思っていたこととの違いに目を向け、感想が書けるように助言する。 <p>★異文化についての理解を深め、異文化を尊重することができる。(ワークシート)</p> <div data-bbox="351 1612 1372 1814" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>本時の学習課題のまとめ</p> <p>バングラデシュの子どもたちは今の生活にかなり満足し、将来に大きな夢を持っていることが分かった。</p> </div> <p>7. 次時を見通す</p> <p>バングラデシュの乗り物や食べ物ついて学習することを伝える。</p>

7点だと思
理由床見のやくに立っているの
1 2仕事をしている時間が
1 1 3遊んでいる時間が短い。

5はん
7点です。理由は、家族
のやくにたっているからです。でも
自分の好きなことができてない
から7点にしました。

5点
理由ゲームやあそび時間
は、リクはいいしごとなしね
いけはいいよ金かもらえるか

3点理由(いい)ときそく正しい
生活ができています。(悪い)電
気がない学校の時間がみじ
かいから

家族が時間がない。(遊ぶ時間はあがるけど家族の時間が
少し足りない)
④バングラデシュの子もたちの様子を見て、気づいたことや考えたことはどんな
ことですか？
みんな笑顔だった。家族おもいでとても忙しい
自分がかせいだお金を両親にわたして、自分は
お金がないのかんがっている。今かあせだと思ひてす
えかおで毎日す。

しことよりあそびしかんがいいし。
④バングラデシュの子もたちの様子を見て、気づいたことや考えたことはどんな
ことですか？
点がすこしいにかかった。自分たちが考えたより点
がたかかった。えかおでインクに答えていた。
しょうらいのゆめが医者やしゃちょうになるなんてすこいと思
とてもよくできた☆ できた◎ まあまあできた○ あまりできなかった△

④バングラデシュの子もたちの様子を見て、気づいたことや考えたことはどんな
ことですか？
自分のゆめとおなじクラスのまんぞく度より
多いみんな明るいえかおがすこい
自分ではたらいもらったお金を金か
親にわたしているなんてすこい

思う。
④バングラデシュの子もたちの様子を見て、気づいたことや考えたことはどんな
ことですか？
あそびが思っていたより高かたのでびっくりした。みんな今と
も幸せと言っていた。みんなかせいだお金を親にわたして
いた。自分の事よりかそくの事を考えていたみんな
笑顔ではたらいしていた。(勉強をかまはりたい)

《授業者の反省》

- ・前時では2クラス合同で授業を行い、お互いにより刺激になった。
- ・バングラの子もたちの笑顔が生き生きとしていたので、満足度についても納得できるものであり、大変良かった。
- ・自分たちの生活満足度と比較し、恵まれていないと考えていたバングラの子もたちの方が高いことから、本当に大切なもの、幸せの意味を考えはじめのきっかけ作りになったのではないかと感じた。

《研究会より》

- ・本時のまとめとして、バングラの子もたちが明るく、自分たちの生活に満足していることが、4年生児童が感じることで素晴らしいと感じた。

- ・子どもたちの感想の中に、「～していきたい。」「～について調べたい。」という前向きなことが書かれていて、動機付けとして有効であった。
- ・視覚に訴えるような資料や映像が効果的に使われていて、良かった。
- ・教師の発問に対して、うなずきやアイコンタクトをしている子が多かった。
- ・板書がきれいで見やすく、終わった後や授業の振り返りができて良かった。
- ・最後の歌も良かった。
- ・教材教具の工夫が見られた。子どもたちの興味関心を引く授業が展開されていた。
- ・複数指名制により、授業に広がりが出ていた。
- ・この研究会には、小中学校の教員が参加しているので、交流が図れて良かった。
- ・普段のとりくみの成果が班討議に活かされていた。今後もさらに経験を積んでいく必要がある。

【活動報告】

1. 8月29日（月）第1時

Bangladesh のまちの様子や人々の生活について知ろう。

2. 8月30日（火）第2・3時

自分たちの生活と Bangladesh の子どもたちの生活を比較し、違いを考えよう。

3. 8月31日（水）第4時

Bangladesh の子どもたちの生活満足度を知り、願いや夢について考えよう。

4. 9月 6日（火）第5時

Bangladesh のくらしや文化について知る。

○ Bangladesh の民族衣装について

男性の正装 パンジャビ 女性の正装 サリー・サロワカ

5. 9月 7日（水）第6時

Bangladesh のくらしや文化について知る。

○ Bangladesh のフルーツについて

ジャックフルーツ マンゴー ライチ パイナップル

6. 9月13日（火）第7時

Bangladesh のくらしや文化について知る。

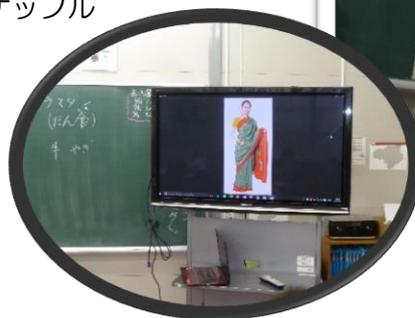
Bangladesh の学校について

○時間 規模 内容 休み時間

7. 9月15日（木）第8・9時

Bangladesh の文化を体験する。

○ベンガルカレーを作ろう（保護者のボランティアを募り、一緒にカレー作りを行い手で食べる。）



8. 9月16日(金)第10時

ハングラデシュのくらしや文化について知る。
ハングラデシュの音楽を聞く。(国歌他2曲)

9. 9月20日(火)～10月5日(水)第11時～13時

テーマを決めて、いろいろな国について調べてみよう。

○食・学校・動物・スポーツ・民族衣装・国旗・歴史・町並み・世界遺産などのテーマに分かれて、調べ学習をする。(パソコン・図鑑)

10. 10月11日(火)～11月9日(水)第14時～19時

○新聞作り

自分が調べてきたことや考えたこと、今まで体験したことなどをまとめ、新聞を作る。

○「世界となかよし集会」の準備をする。

・中国語、韓国語で自己紹介の練習をする。

【日本語】

- ① こんにちは
- ② わたしの名前は、〇〇です。
- ③ わたしの好きな食べものは、〇〇です。
- ④ わたしの好きなスポーツは、〇〇です。
- ⑤ よろしくおねがいします。
- ⑥ ありがとうございます。

【中国語】

- ① 大家好!
ダージャーハオ!
- ② 我叫 〇〇。
ウォー ジャオ 〇〇。
- ③ 我最喜欢的食物是 〇〇。
ウォー ツイ シーフアン ダ シーウー シ 〇〇。
- ④ 我最喜欢的运动是 〇〇。
ウォー ツイ シーフアン ダ ユンドン シ 〇〇
- ⑤ 初次见面，请多多关照!
チューツー ジェンミエン、
チン ドードー グァンジャオ!
- ⑥ 谢谢大家!
シェーシェー ダージャー!

【韓国語】

- ① 안녕하세요.
アンニョンハセヨ
- ② 제 이름은 〇〇 입니다.
チェ イルムン 〇〇 イムニダ
- ③ 좋아하는 음식은 〇〇 입니다.
チョアハヌン ウンシグン 〇〇 イムニダ
- ④ 좋아하는 스포츠는 〇〇 입니다
チョアハヌン 스포츠ヌン 〇〇 イム니다
- ⑤ 잘 부탁드립니다.
チャル ブタッカムニ다
- ⑥ 감사합니다.
カムサハム니다

11. 11月10日(木)第20時・21時

○世界となかよし集会 講師 中国2名, 韓国2名

主な流れ

- ①講師のしょうかい 3分
- ②「よろしくおねがいします」のあいさつ 1分
- ③講師の方のあいさつ 3分
- ④グループごと自己紹介タイム 20分(13人4グループに分かれる。)
ア)全員が韓国語(中国語)であいさつ「こんにちは」
イ)留学生が日本語と母国語で自己紹介
ウ)児童が韓国語(中国語)で名前の自己紹介
→ 名前を聞いて、留学生がハングル又は中国語表記の名札を渡す。
エ)留学生が一人ずつ好きな食べ物か好きなスポーツをランダムに聞いていく。
→ 用意された単語カードを拾って、中国語か韓国語で答える。



- オ) 全員が韓国語(中国語)で「よろしくお願いします。」
- ⑤ 交流しよう(講師の先生から母国について話を聞く)
中 国…10分 韓 国…10分
- ⑥ 遊びで交流しよう
中 国…10分 韓 国…10分
- ⑦ 感想・お礼の言葉
- ⑧ 歌「小さな世界」(ベンガル語・日本語) 3分
- ⑨ 終わりのあいさつ 1分



12. 11月16日(水)～11月22日(火) 第22時・23時

○学習のまとめ

学習のまとめとして、この学習で考えたこと感じたこと、これからの生活に生かしたいことなどを学習感想としてワークシートにまとめる。

13. 11月29日(火) 第24時

○学習のまとめ

日本の良さについて考える。

日本の良さを守り、発展させるためにどんなことができるか考える。

日本の良さについて

- ・町がきれい
- ・自然が多い
- ・学校に通える
- ・電気がある など
- ・時間を守る人が多い
- ・お金や物がゆたか
- ・じゅみようが長い
- ・空気がきれい
- ・戦そうがない
- ・食べ物おいしい
- ・水がきれい
- ・人がやさしい
- ・べんり

守り発展させるために

- ・自ぜんをまもっていきたい。
- ・食べ物がない国があるので、好ききらいをなくして残さず食べるようにしたい。
- ・戦そうがおこらないようにしたい。
- ・バングラの子どもたちに負けないように、勉強をがんばりたい
- ・電気や水道をむだにしない など

14. 12月6日(火) 第25時

○友だちの新聞鑑賞会

友だちの新聞の作品のよさを味わう。